

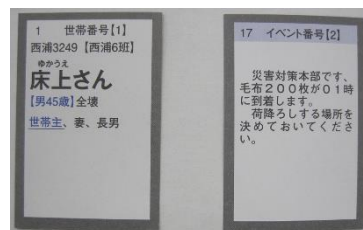
素早く判断！

避難所運営ゲーム(HUG)について

避難所の開設は原則、市職員が行い、運営をしていきますが、大規模災害で避難者が多いと運営が上手くいきません。そこで、避難者自身で避難所を運営することも必要になってきます。自主防災組織の訓練として避難所運営訓練を行い、避難所で起こる課題を確認しましょう。

0.ゲームで使用するもの

- ・ HUG カードセット × グループ数
- ・ HUG カードリスト (配布者用)
- ・ ポストイット (適量)、油性マーカー × グループ数
- ・ 筆記用具 × 参加者数
- ・ 体育館図面 (A0 サイズ白紙) × グループ数
- ・ 対象避難所平面図 (A2 サイズ) × グループ数
- ・ 福祉避難室図 (A2 サイズ白紙) × グループ数
- ・ 振り返りシート × グループ数



1.ゲームの準備

- ① : 参加者の中で6～8人のグループを作れるように会場レイアウトを整える
- ② : グループ毎に筆記用具、各種図面、ポストイット、振り返りシートを配布する
- ③ : 配布するカードやタイムスケジュールを検討しておく

2.ゲームの手順

- ① : 各グループに代表者を決めさせる (少し時間をとって話合わせる)
- ② : ゲームの趣旨や流れとタイムスケジュール (前後半に分ける) を説明する
- ③ : ゲームの設定条件及び注意事項を説明する
- ④ : 各グループに始めるまでの準備の時間を与える (数分)
- ⑤ : 避難者カード及びイベントカードをカードリストにしたがって代表者に一定間隔ごとに配布する

※各グループの代表者は、カードが配られたら班員に内容を伝える

※配布の間隔は各グループがカードを処理し終わる手前くらい様子を見ながら決める

⑥：一定時間経過後、前半を終了させ、他のグループの状況を確認させる（5分程度）

※その際、一人はグループに残り他のグループからの質問に答える

⑦：参加者を席に戻し、前半戦と同じ要領で後半戦を開始する

⑧：一定時間経過後、後半を終了させ、他のグループの状況を確認させる（5分程度）

⑨：グループで意見交換し、振り返りシートに記入をさせる（10分程度）

⑩：各グループの代表者に1分程度で振り返りシートの内容を発表させる

⑪：まとめを説明し終了

3. ゲームのポイント

①：中長期的な避難生活を考慮し、二次災害を起こさないようにする

②：正解がなくマニュアル通りにいかない災害対策を知る

③：避難所運営スタッフ全員の納得感が得られるようにする



ゲーム タイムスケジュール (例)

①ゲームの趣旨説明等	15分
②カード配布（前半）	20分
③他のグループの配置状況確認	5分
④カード配布（後半）	20分
⑤他のグループの配置状況の確認	5分
⑥各グループでの意見交換	10分
⑦各グループ代表者による発表	5分
⑧まとめ	5分

避難者カードは一人の人間として扱う

優先順位が大切

まず初めにルール作り

ゲームの設定条件は

常に見えるようにする



市では、避難所運営ゲームを実施するためのキッドの貸出しを行っています。
詳しくは下記担当まで、ご連絡ください。

担当 西宮市地域防災支援課

TEL 0798-35-3092